



院長新任のあいさつ

今年4月から、院長に就任しました鈴木知信と申します。

これまで同様、本院をご利用くださる皆様のご期待に沿えますよう、全職員が不断の努力を続けてまいりますので、よろしくお願いたします。

さて、最近の医療を取り巻く情勢は大変厳しいものがありますが、昨年度は医療が高度化、多様化する中において、病院機能の評価では国内最高水準であるバージョン5.0を取得し、400床以上の県内11病院の中で、初の認定病院となりました。

また、町立真室川病院に週2回内科医を派遣（19年度96回派遣）するなどして、地域医療の支援にも取り組んでおりますし、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けて「がん化学療法センター」を開設したり、採血管自動ラベリングシステムを導入して「中央採血室」を開設するなど、高次医療を中心とした地域の医療需要に応える努力を積重ねてまいりました。

今年度は、医療制度改革、診療報酬改定や県財政の危機的状況に加え、当病院を取巻く医師不足等の医療環境は一層厳しさを増しておりますが、全身用血管撮影装置やガンマカメラ、X線透視撮影装置などの高度医療機器を更新するとともに、全職員のスキルアップや医師確保及び初期研修医の育成に力を入れるなどして、最上地域の医療水準を維持・向上させることに貢献して参ります。

本院の理念は、『《仁》、《愛》、《和》の心をもって、地域住民に信頼と安心を与える医療を提供し、最上二次保健医療圏唯一の中核病院としての使命を果たします。』としております。この使命を果たす上で、住民の皆様方のご支援が何よりの励みとなることを申し添え、ごあいさついたします。



食事のとき

**むせてしまったり、
飲み込みにくくなったり
していませんか**

【こんなサインに注意しましょう】

- 体重減少
- 弱いせき
- たんが出る
- むせ
- 飲み物が苦手
- 咽頭(のど)の違和感

【飲み込みにくい食べ物は・・・】

▶ 水分(水・お茶・ジュースなど)	⇒ さらさらと流れて誤嚥しやすい
▶ パサパサしたもの(焼き魚・ゆで卵など)	⇒ 口の中でまとまらず飲み込みにくい
▶ まとまりにくいもの(かまぼこなど)	
▶ ベトつくもの(もち・だんごなど)	⇒ 口の中にはりつき飲み込みにくい

食べる喜びは元気の源

おいしく食事出来る工夫を

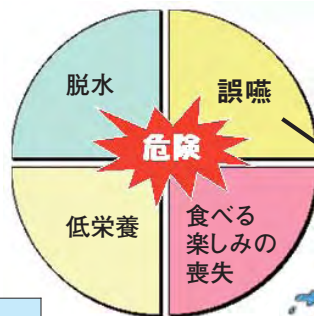
当病院では、7月より新たに嚥下(えんげ)食をたちあげました。

嚥下機能に低下が見られる患者様にも安全で、

おいしい食事を召し上がっていただけるようお手伝いしていきたいと考えております。

栄養給食課では、医師の指示により栄養食事指導を行っております。詳しくは、主治医におたずね下さい。

糖尿病教室など栄養教室も随時開催しておりますので、ぜひご参加ください。



えんげ
嚥下障害を
(飲み込み困難な状況)
放っておくと...



肺炎

【飲み込みを良くする調理のポイント】

ゼリー状にかためたり、
トロミをつけることで飲み込み
やすく、食べやすい食事にな
ります。柔らかく調理する
ことも大切です。



● 医療安全管理について ●

こんにちは、医療安全管理担当の渡辺です。

患者様が安全に、安心して医療を受けられるように、毎週医療安全の検討会を開催しています。医師、看護師、薬剤師、検査技師、リハビリ科、栄養給食科、事務部等と共に、病院職員が一丸となって医療安全に取り組んでいます。今年度より看護部から医療安全部へと配属になり、患者様に直接触れ合う機会が少なくなり、淋しい感じもありますが、医療安全への取り組みを“常に患者様の目線に立って”“改善”を心がけて頑張っていきたいと思っています。宜しくお願いします。



皮膚、排泄ケア(WOC) 認定看護師が誕生しました。

ナースの活躍に当院のみならず、最北地区の住民が期待しています。



今回、晴れて皮膚・排泄ケア認定看護師となりました小野紀子です。それってどんなことをする看護師なの？と知らない方も多いと思います。創傷ケア・オストミーケア(人工肛門を作った方へのケア)・失禁ケアに関して、専門的な知識と技術を実践に生かし、ケアの質の向上に努めていきたいと考えています。スキンケアでお困りの際は是非一声かけてご相談下さい。

— 喫煙は「百害あって一利無し！」 —

新庄病院は、患者さんの快適な療養環境のために、敷地内禁煙を実施しております。また、(財)日本医療機能評価機構の病院機能評価で最高位のVer.5を取得し、更には地域がん診療連携拠点病院にも指定されております。この評価、指定を受けるためには、敷地内禁煙が条件となっています。敷地内の禁煙について、ご理解とご協力をお願いします。

敷地内



禁煙

— 季節の花を植えています —

正面玄関及び中庭に季節の花を植えています。きれいに咲いていますので、是非ご覧下さい。



夏に流行するかぜ「プール熱」

夏かぜのひとつに「プール熱」があります。プールを介して流行することがあり、このように呼ばれています。正式には“咽頭結膜熱”と言い、アデノウイルスによる急性ウイルス感染症です。プール以外に、咳やくしゃみによる飛沫感染や接触感染により広まります。毎年6月ごろから増加し始め、7～8月にピークを迎えます。幼児～学童を中心に流行します。

◎症 状

感染しても症状がでるまでに5～7日間かかります。急な発熱から始まることが多いのが特徴です。発熱、咽頭炎、結膜炎が主症状ですが、全部そろわないこともあります。

1. 発熱 39度以上の高い熱が3～7日間続きます。
2. 咽頭炎 のどが赤くはれ、痛みを伴うことがあります。
3. 結膜炎 目が赤くなり、痛み、目やにが出たりします。

*そのほか頭痛、食欲不振、咳、鼻水などの一般的なかぜの症状がでることもあります。ほとんどの場合、5～10日前後で治ります。肺炎(長引く咳や喘鳴)、胃腸炎(下痢、嘔吐、腹痛)などを合併することもあります。

◎治療法は………特効薬はなく、症状を軽くする対症療法が中心になります。熱やのどの痛みをおさえる薬(解熱鎮痛剤)、目薬などを使います。

高熱時には、安静にして、休養をとりましょう。十分に水分を補給し、氷枕などで冷やしてください。

◎登校、登園は………学校保健法では、主な症状がなくなっても2日間は原則として出席停止になっています。ほかの人にうつさないために外出を控えましょう。

◎予防のために………うがいや手洗いの励行が大切です。タオル等の共用はやめましょう。特に水泳前後はうがいをし、目を洗い、全身をシャワーでよく洗い流すことが大切です。

研修医 の紹介

—その1—



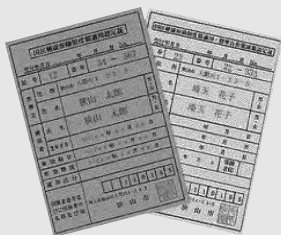
初期研修医1年目の石垣大輔です。出身は庄内の遊佐町です。新庄病院を研修先に希望した一番の理由は、“忙しく動き回りたい”と思ったことです。研修医になって4か月になりますが、希望通りに忙しい日々を送ることができ、充実感で一杯です。そしてなにより、患者さんを含む病院の皆様が温かく御指導下さり、新庄病院に来ることができ本当に良かったと思っています。これからもどうぞよろしくお願いします。

ご入院の際は、お忘れなく!

～会計係よりお知らせです～

「認定証」交付

「認定証」の
交付手続きは
お済みですか?



「認定証」みほん

制度のしくみ

70歳未満の患者様の入院費が対象になります。「認定証」を提出することで、病院への支払いは一定限度額までとなり、**お支払い時の負担が軽減**されます。また、貸付制度を利用したり、限度額を超える分を病院に支払う必要がなくなります。申請先は、市町村役場や社会保険事務所などの各保険者になります。



いい制度だけど、役場に行く時間がないな～

家族も仕事休めないし……

**当院職員が手続きを
代行いたします!**

詳細は、「10番窓口」にご相談ください。

ご安心
ください!



10番窓口

入院中で手続きができない患者様や、ご家族も仕事等で手続きに行けない患者様のために、当院では職員が代行手続きを行っております。ぜひ、ご利用ください。
※出産育児一時金の代理受取りについても、代行手続きを行っております。

●循環器専門医とは？

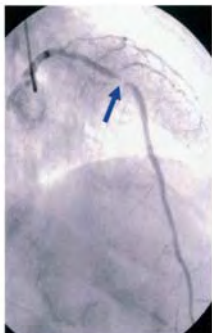
現在、当院の内科医12名のうち3名が循環器専門医です。循環器って何を診るところ？…今日はそんな皆様の御質問にお答えできるチャンスを頂きました。循環器科の医師とは、心臓病や動脈硬化のスペシャリストです。

●心筋梗塞や狭心症とは？

この病名…皆さんよく耳にしますよね。糖尿病、高コレステロール血症、高血圧…これら成人病を持つ患者様が発作的な胸の重苦しさを自覚するようになったら要注意です。心臓そのものを栄養する血管（冠動脈-かんどうみやく-といいます）の内壁にコレステロールが溜まってきている可能性が高いです（**狭心症**の始まりです）。整備されていない汚泥の溜まった側溝を想像して下さい。あなたの冠動脈が今、まさにそのような状態なのです。万が一、血管が完全に詰まってしまった場合（**心筋梗塞**です）、胸の苦しさは冷や汗やチアノーゼを伴う持続的なものとなり、やがて血圧が下がり意識がなくなります。このような状態になってしまうと、せっかく救急車で病院に辿り着くことが出来たとしても、発症1週間以内の予想死亡率は30%を超えてしまいます（10人のうち3人は死亡）。昨日までバリバリ働いていた一家の大黒柱が、突然不幸な転帰を辿ってしまうのです。世の中にこんなに恐ろしい病気は他にありません。

●早めにご相談下さい。

心配しないで下さい。最も大切なことは「早め早めにご相談頂く」ことなのです。**カテーテル治療**…これも最近よく耳にする言葉ですよね。大腿や腕の動脈から、極細(直径1.5-3.5mm)の医療用の管(カテーテル)を通してやることによって、血管の内側から冠動脈を拡張し、コレステロール(汚泥)を掃除することが可能になりました。時間はほんの1時間!、大腿(または腕)に歯医者さんと同じ軽い局所麻酔を行なうだけで、誰でも手軽にこの治療の恩恵を受けることができるようになりました。ある患者様にお許しを頂いた



冠動脈に99%狭窄を伴う強い動脈硬化病変を認める。



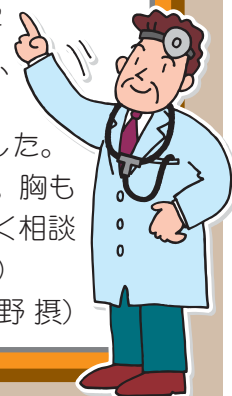
冠動脈拡張術中。



冠動脈は良好に拡張され胸痛は完全に消失した。

ので、今日はカテーテル治療時の写真を提示させて頂きます。この方は、治療翌日、パクパクと朝食を摂られながらこんな風に話しておられました。「先生、世界が変わったみたいだや。胸も全然モヤモヤしないし…もっと早く相談すれば良かったやー」。(次号へ続く)

(第二診療部長 循環器科長：廣野 撰)



七夕様にごを願いましたか？今年も各病棟で七夕飾りを準備しました。入院患者様やご家族、そして職員が願いを込め短冊に想いを綴りました。皆様の願いが天の織り姫とひこ星に届きますよう、祈ります。